

リニア駅周辺整備 ワークショップだより

平成 30 年 3 月発行

vol. 1

●リニア駅周辺を考えるワークショップがはじまりました！！

2月21日に「第1回 リニア駅周辺整備に関するワークショップ」を開催しました。当日は飯田市内外にお住まいの方や事業をされている方、高校生から80代まで、幅広い職業、世代の方々、総勢37名にご参加いただきました。



2027年に開業するリニア駅を含めた周辺が、どんな空間になったらよいかということについて意見交換を行いました。意見交換では、リニア駅の使い方のイメージや飯田・伊那谷が持つ魅力を活かすアイデアなどさまざまな意見が出されました。

ワークショップとは？

さまざまな立場の人が集まって、同じ土俵で意見を出し合い、共に創造したり作業を行いながら、意見をまとめ上げていく手法です。

他の参加者の意見を聞くことで、思いもよらなかった発見があるかもしれません。



●第1回ワークショップの概要

開催実績

◆日時：平成30年2月21日（水）
18:30～20:30

◆会場：飯田市役所

◆参加者数：37名

◆ワークショップの内容

1. 進め方などについてのガイダンス
2. グループごとの意見交換
3. グループ代表者による発表
4. 全体での意見交換結果のまとめ

「リニア駅周辺整備のコンセプト」や「整備にあたって大切にしたいこと」について、4つのグループに分かれて意見交換を行いました。

また、各グループの代表者に意見交換の結果を発表していただき、参加者全体で共有しました。

ご存知ですか？ リニア駅のできる位置

リニア長野県駅は飯田市街地から北東に約3kmの上郷飯沼付近（国道153号、県道市場桜町線、土曾川に囲まれた区域）に設置されます。

JR飯田線にも近接していることから、伊那上郷駅と元善光寺駅間に乗り換えのための新駅の設置が検討されています。



●ワークショップで出された主な意見

リニア駅周辺の整備にあたって大切にしたいこと、こんな空間にしたいというイメージについて、参加者それぞれの思いが語られ、活発な意見交換が展開されました。

【風景・景観】

- 地形や山の眺望、農の風景などこの地域の特徴を活かす
- リニア軌道が景観に及ぼす影響に配慮
- 音やにおいなどの五感も大切に など

【新たなつながりや愛着を生む場所】

- 伊那谷全域に誘い出すきっかけを提供
- この駅でしかできない体験を提供
- リニア駅が外から飯田・伊那谷を訪れる目的の一つになるように など

【変化に対応・柔軟な利用】

- 環境、ITなどの技術の進歩への対応
- 将来のライフスタイルへの対応 など

【来訪者・地域住民の居場所】

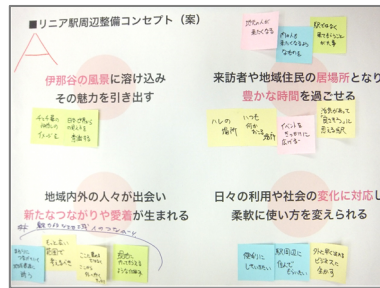
- 誰もが利用しやすい空間
- 日常的に地元の人が気軽に来られる場所
- 家族連れや学生などの若い世代が過ごせる場所
- リニアに乗る目的以外でも来たくなる場所
- 来訪者もゆったり過ごせる場所
- にぎわいのある（いつも人がいる）場所
- 冬の寒さ、夏の暑さへの対応 など

【その他】

- 車を運転できない人（中高生など）が来やすい交通手段の確保
- 乗り換え利便性の確保
- リニア駅周辺に暮らす人たちへの配慮 など



■意見交換の様子



■意見が貼り出された模造紙



■代表者による発表の様子

●今後の予定

✓ 開催スケジュールについて

平成30年末までに数ヶ月に1回のペースで5回程度の開催を予定し、「魅力ある空間にするための使い方・過ごし方＝“コト”」から、リニア駅のあり方を考えます。

✓ 参加者募集について

開催回ごとに参加者募集を行いますので、第2回からの参加も歓迎します。

あなたもリニア駅周辺のあり方を一緒に考えませんか？

第2回ワークショップの開催について

▶ テーマ（予定）

○「リニア駅周辺コンセプト」や「整備にあたって大切にしたいこと」(第1回を踏まえた内容)について

○駅周辺の大まかな機能配置について(たたき案をもとに意見交換を行います)

▶ 開催時期

平成30年5月以降
(平日の夜を予定)



詳細は市HPや広報などでお知らせします。

問い合わせ先 飯田市役所 リニア推進部 リニア整備課

☎ : 0265 (22) 5361

FAX : 0265 (22) 5371

✉ : linear-seibi@city.iida.nagano.jp